

平成17年度

中村宿毛道路外1件埋蔵文化財発掘調査

坂本遺跡

第1回現地説明会資料



現地説明会 平成17年8月21日(日) 午後1時30分～3時
場 所 四万十市坂本 坂本遺跡現地

高 知 県 教 育 委 員 会
(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

I 発掘調査概要

1. 発掘調査名

平成17年度 中村宿毛道路外 1 件埋蔵文化財発掘調査
坂本遺跡発掘調査

2. 目的

国土交通省が計画している中村宿毛道路工事計画区域内に所在する遺跡の中で工事により影響を受ける部分について記録保存のための発掘調査を行い、埋蔵文化財の保護を図ることを目的とする。

3. 事業主体

国土交通省四国地方整備局 中村河川国道事務所

4. 調査主体

高知県教育委員会

5. 調査実施機関

(財)高知県文化財団埋蔵文化財センター

6. 調査場所

四万十市坂本〔坂本遺跡〕 (坂本遺跡位置図参照)

7. 調査面積

調査予定面積 約3,300m² (重複部分700m²を加え合計4,000m²)

8. 調査予定期間

平成17年 5 月～平成17年10月

7. 調査協力

四万十市教育委員会

Ⅱ 坂本遺跡の概要

1. 立 地

坂本遺跡は四万十市坂本に所在しており、現況の地形は中筋川と四万十川の合流地点に近接し、足摺方面へ向かう国道56号線にも隣接しており、交通の要衝である。

また、背割り堤防ができる以前の旧景観では、中筋川と四万十川の合流地点であり、遺跡の前を旧国道が通る水路（水運）と陸路（陸運）の結節点となる要衝の地であったと考えられる。

歴史的環境として最も重要と考えられる遺跡は、すぐ西側山上に位置している香山寺跡であり、坂本には現在でも山上に向かう参道の入り口が残されている。その他の周辺の遺跡としては、東側山中に中世の皇子山城跡が確認されている。さらに坂本遺跡の上流側には著名な具同中山遺跡群も所在しており、幡多地域の中心地域を形成している。

現在、遺跡を調査している場所には「中の坊」という字名が確認されており、寺院に関係すると考えられる字名が残されていることも注目される。

2. 調査成果

現況で調査が行われているのは、調査1区、2区の一部のみであり、全体像はこれからの調査の進展を待つ必要があるが、これまでの調査区からは重要な遺構、遺物が検出されている。特に調査2区からは石列や柱そのものが残存しているなど、非常に残存状況が良好な状態である。しかし、調査の進展に伴い埋戻しを行わなければならない、公開の機会がなくなるため、調査中であるが、現時点での調査成果を公表することとなった。

(1) 検出遺構

柱穴列 直径約35cmの柱が残る。7本を検出。

検出規模は1間×2間である。

杭列

石列状遺構 側溝（地業遺構を伴う）

ピット（柱穴群） 約100個

礎石 約10個

(2) 出土遺物

土師質土器（坏、鍋など） 国内陶磁器（瀬戸） 貿易陶磁、瓦質土器（鍋、火鉢など） 瓦、漆器（椀） 古銭、小刀、飾り金具、曲物板、鞆の羽口、温石など。

出土遺物の時期は15世紀代後半を中心とする。

土師質土器 坏 小坏が多く出土している。柱痕の埋め土からも坏が出土している。

一度で使い捨てられることが多く、祭事などハレの儀式に使われる。

国内陶磁器 瀬戸と考えられる遺物が出土している。

貿易陶磁 青磁 碗、盤、壺などが出土している。主に15世紀後半の時期である。

特に壺は、奢侈品で高知県でも初出土の事例である。

白磁 皿。主に15世紀後半の時期である。

瓦質土器 奈良火鉢と考えられる瓦質製品が出土しており外面には珠文が巡っている。

瓦 須恵質の堅い瓦である。内面には古代の瓦の様な布目が残る。

他の遺物から時期は中世と考えられる。

中世の須恵質の瓦は高知県で初出土の物である。

漆器 黒漆椀と考えられる物が出土しているが、小皿として転用された可能性がある。

古銭 洪武通宝(1368年初鑄)、永楽通宝(1403年初鑄)などの明銭、北宋の嘉祐通宝(1056年初鑄)が出土している。鑄上がりがよく模鑄銭の可能性は低い。

小刀 外面に唐草文様と思われる彫金が施された青銅製。

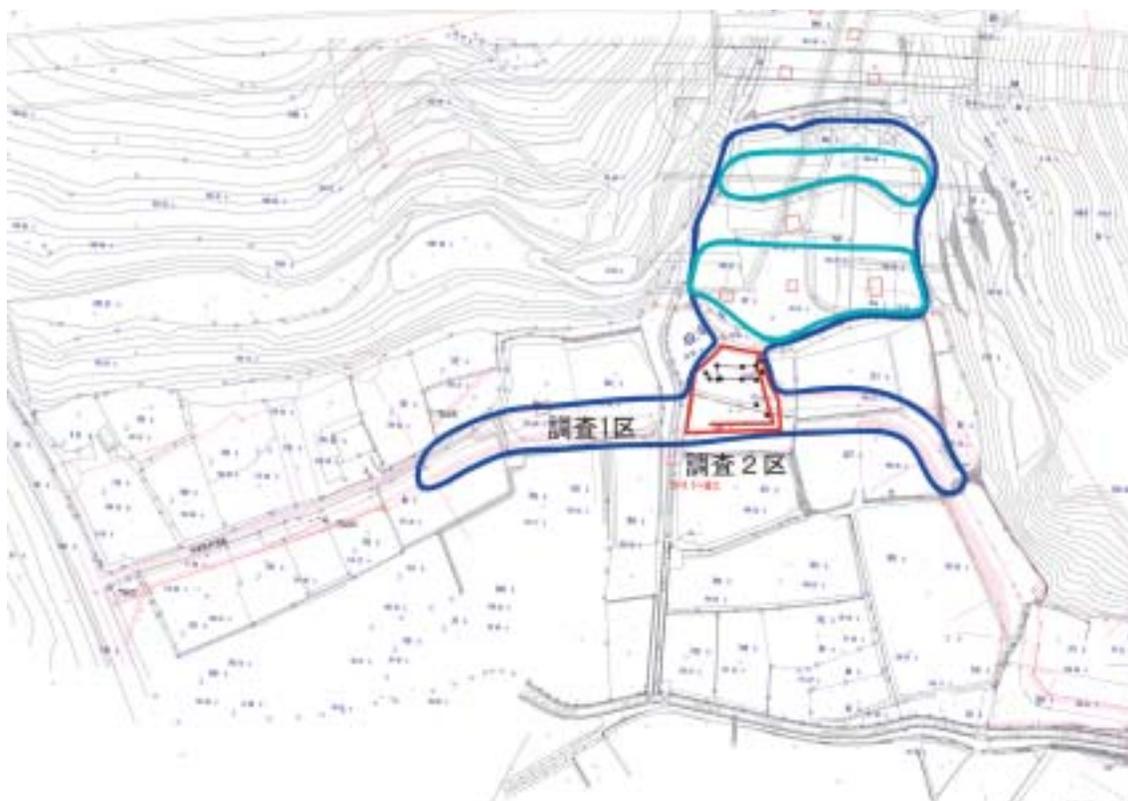
温石（おんじゃく） 滑石製石鍋を転用した物、冬場暖めてカイロとして使用する。

Ⅲ まとめ

- ① 瓦が出土しており、中世の時期に瓦が葺かれた建物跡は限られることと、字名が寺院と関係することを示す「中の坊」であることや、香山寺と隣接していることなどから寺院跡である可能性が高い。
- ② 出土遺物が多岐にわたっていると同時に、県内初の出土となる青磁壺（破片）が出土していることや貿易陶磁が多く出土していることなどから有力な寺院の存在を窺い知ることができる。
- ③ 香山寺の本寺である足摺の金剛福寺への街道と中筋川の水運の結節点に立地しており、香山寺、金剛福寺と密接な関係があったと考えられる。
- ④ 今後、調査は寺院跡本体が存在する可能性が高いと考えられる上段平場の発掘を予定しており、遺跡の全体像、位置付けについては、これからの調査の進展に期待される。



坂本遺跡 位置図



坂本遺跡 調査区設定図



01. 1区遺構



02. 1区北端部石列



03. 1区出土瓦



04. 1区瓦質土器出土状況



05. 1区出土瀬戸水注



06. 2区1面目完掘



07. 2区石列1



08. 柱痕2堀方出土坏



09. 柱痕 3 , 4



10. 柱痕 4 堀方出土坏



11. 2区瓦集中



12. 2面目完掘



13. 石列 1 側溝



14. 石列 1 側溝出土白磁



15. 石列 1 地業



16. 漆器出土狀況



17. 小刀出土狀態



18. 青磁壺



19. 青磁盤底部



20. 青磁碗



21. 染付



22. 小刀



23. 温石



24. 出土古錢